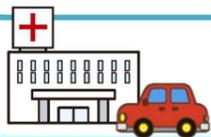


次回のくれよんは2月の発行予定です。おたのしみに～！(*^_^*)♪

つういんそうげいうんてん 通院送迎運転ボランティア募集



自分で通院できない患者さんを、ボランティアさんの自家用車で患者さんの自宅と病院の間を送迎していただくボランティア事業です。

佐世保市内及び周辺地域在住の方々に、送迎ボランティアにご協力いただける方を募集しています。

記載の時間中、ご都合の良い時間帯を提供していただけますか？

往復、片道の送迎どちらでも結構です。

週のうち1回などの不定期でもできますので、よろしくおねがいします。

送迎していただく時間帯

月曜日から土曜日の間で（1時間程度）

●午前8時前後 患者宅から病院へ

●午後2時前後 病院から患者宅へ
患者宅から病院へ

※送迎された分のガソリン費用相当支給

【詳しくは下記へ、お問い合わせください】

NPO 法人 通院送迎支援センター

ほほえみ佐世保

TEL0956-24-7573（月・水・金 10時～15時）

障がいの特性を知り、配慮ある接し方を学ぶ！

ボランティア 実践講座開催 のお知らせ



ボランティア活動者のスキルアップを目的に、今回は知的障がい等を持つ方の特性や接する上で配慮する点などを学ぶ講座です。

会場 させぼ市民活動交流プラザ
【戸尾町 5-1】

日時 令和元年 12月 12日(木)
13:30～15:30

テーマ 障がいについての理解
(知的障がい、発達障がい等)

対象者 登録個人ボランティア

定員 30名(定員に達し次第締め切ります)

参加費 無料

主催 佐世保市ボランティアセンター

※お問い合わせ、お申込みはボランティアセンターまでおねがいします。

活動のステップアップを応援します！

登録ボランティアグループの皆さん 研修費補助金の申請をしませんか！

ボランティアセンターに登録している、ボランティアグループのスキルアップを図ることを目的に補助金を交付します。



対象団体

●当センターに登録して1年以上の団体

対象となる経費

●参加した研修会の参加費(交流会を除く)、
旅費(公共交通機関利用)、宿泊費など

●グループが実施する研修会の講師謝金、
資料作成費、会場費など

申請方法

交付申請書に必要事項を記入し、経費を証する書類及び研修資料等を添付してボランティアセンターへ提出してください。

※1グループ7万円を上限に申請できます。

市民の皆さまが集まる場所に『くれよん』を置いてもらえませんか！

当情報紙『くれよん』は、多くの市民の皆さまにボランティア情報をお届けするために、お店や福祉施設など、設置先・配布先を随時募集しています。

2ヶ月に1回、偶数月に発行しており、1ヵ所につき15部を郵送致します。(送料無料)

ご希望、お問い合わせはボランティアセンターへお願いします。



あなたらしさで広がるボランティア くれよん KUREYON



2019年度 第5号
令和元年12月1日

■特集■ 『佐世保学生ボランティア協会』



令和元年10月13日開催 『きのこ大運動会』

佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)

〒857-0864 佐世保市戸尾町 5-1 させぼ市民活動交流プラザ 1階

TEL : 0956-23-3905 / FAX : 0956-42-0102 E-mail : kureyon@sasebo-shakyo.or.jp

時間 / 10:00～18:45 (火～土) 10:00～17:00 (日)

休館日 / 月曜・祝日・年末年始・プラザの休館日



「くれよん」はボランティアの方々のご協力によって発行されています。

受け継がれ、進化する若い力

佐世保学生ボランティア協会



次代を担う若者たちが、伝統ある志を受け継ぎながら活動しています。

『佐世保学生ボランティア協会』は、長崎県立大学佐世保校の学生たちが昭和48年に“障がいの有無に関わらず、みんなが楽しく遊べる機会を創出すること”を目的に立ち上げられました。

現在はメンバーが100名ほど在籍し、障がい者施設に月に3回訪問して交流する取り組みや、祭りやイベントの補助など様々な活動を随時行っています。

「きのこ大運動会」が開催されました！

『佐世保学生ボランティア協会』の活動の一つに“きのこ活動”という名称の、在宅の障がい者の方々と一緒に余暇を楽しむ活動があります。

余暇活動は、ゲーム大会や遠足、餅つきなど季節に合わせた活動があり、その中でも一大イベントである『きのこ大運動会』が令和元年10月13日、長崎県立大学佐世保校グラウンドにて開催されました。

当日は、障がいを持たれている方々とその家族が参加し、学生メンバーが個別でサポートについて、リレーや玉入れ、綱引き、ダンスなどが繰り広げられました。

拍手や歓声が湧き上がり、笑顔が絶えない楽しい時間でした。



会場設営からチーム旗などの小道具の製作、進行などの全ての運営を学生ボランティアが担っています。

設立46周年、受け継がれる活動と新たな取り組み

代表者の田口さんに、『佐世保学生ボランティア協会』の活動についてお尋ねしました。

「協会では、学生の自主性を大切にしています。メンバーからやりたい活動が提案されれば、話し合い、できるだけ実現するようにしています。協会の活動は毎年替わる班長等の役職に、今年就いたメンバーと、昨年就いていたメンバー2人で動く制度を取り入れています。

そうすることで負担の分担や、悩みの相談がしやすく、さらに訪問施設と親密な関係を築いて、活動を長く続けられています。今までは障がいのある方との交流が主な活動内容でしたが、その他の取り組みも現在増やしています。小学生との交流活動も今年からはじめ、より多くの分野で地域に貢献できる団体にしていきたいです」と教えていただきました。



障がいのある方とトランプ大会での交流の様子



この情報紙は「赤い羽根共同募金」の配分を受けて作成しています。

最後に学生ボランティアの皆さんに、ボランティア活動を始めてみたい方へのメッセージをお願いしました。

「ボランティアには様々な種類がありますが、どのボランティアであっても必ず誰かの助けになります。“自分がやれそうなこと・得意なこと”からでもいいので、ボランティアを始めてみてはいかがでしょう」とお話しいただきました。

この佐世保で学ぶ若人達は、これからも先輩たちから続く活動を受け継ぎ、さらに飛躍して進化させていきます。



きのこ大運動会で活動された学生ボランティアの皆さん

ボランティア入門講座を開催しました

令和元年10月5日、大野地区公民館にてボランティア入門講座を開催しました。14名の参加をいただき、ボランティア活動についての基礎知識や心構え、登録ボランティアグループの紹介や、現在募集中のボランティアの紹介を行いました。



講座の様子

参加者からは「いろいろな活動団体があることと、大勢の方々が参加されていることを知り、自分も活動したいと思いました」「ボランティアに興味がありましたが、今まで何から始めればいいのかわかりませんでした。ボランティアセンターで相談などできることを知りましたので、活用していきたいです」とのご感想をいただきました。

「させぼコミュニティフェス2019 交流会」が開催されました！

令和元年10月22日(祝)アルカスSASEBOにて、佐世保市内を拠点に活動するNPO法人や公益活動団体、ボランティア団体が情報を発信する「させぼコミュニティフェス2019 交流会」が開催されました。

当日は、当センターの登録ボランティア団体を含む22団体が参加して、パネル展示、ブース出展、ステージでの発表など、それぞれの活動内容の紹介が行われました。

来場者数は270人にと及び、市民の皆さんへの活動のPRと団体同士の交流ができました。



会場の様子

囲碁・将棋・花札のお相手 ボランティア募集中！

ボランティアセンターでは市内高齢者福祉施設や個人宅で、定期的に囲碁・将棋・花札のお相手をしてくれるボランティアさんを募集しています。

ボランティア活動未経験の方でも大歓迎です。

その他、演芸を披露や、ちょっとしたイベントのお手伝いなど、ボランティア活動は様々あり、随時募集しています。

趣味・特技を活かしてボランティア活動やってみませんか！

ご興味がある方は、是非ボランティアセンターへご連絡ください。

あなたの「やってみよう！」を、お待ちしております！

